

【CDEにいがた】(新潟県地域糖尿病療養指導士)のご案内について

飛躍的に増加し続ける糖尿病患者の治療と療養指導の向上のために、日本糖尿病療養指導士制度(CDE)が確立され多くのCDEJが誕生し各施設で活躍しています。

新潟県内でも糖尿病療養指導士育成推進協議会において、日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の育成ならびに新潟県における糖尿病療養指導の向上に貢献してきました。

また2008年より、新潟県内での糖尿病療養指導の更なる発展をめざして、新潟県地域糖尿病療養指導士の育成をおこなってまいりました。CDEJ資格者からの登録も含め、この制度により現在約300名以上のCDEが新潟県各地での糖尿病療養指導の場で活躍されております。

毎年CDEにいがたをめざす皆様に年間4回の学習会を開催し、その後認定試験を行ってCDEにいがた(新潟県地域糖尿病療養指導士)を認定しています。皆様の参加をお待ちしています。

また、こちらの学習会は日本糖尿病療養指導士(CDEJ)の受験対策の一助にも役立つものと計画しております。

学習会

学習会は年に4回開催する(9月から12月ころ)

学習会の受講を希望する者は次の各項を満たすことを必要とする。

- ① 医師、歯科医師、看護師、准看護師、保健師、助産師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、歯科衛生士など国家資格を有する者、又は、その他適格と認められた者。
- ② 臨床経験2年以上または地域活動2年以上を有する者。
- ③ 糖尿病教育担当者としての経験を有する者。

定員 : 約100名

受講料 : 10,000円(振込先は別途案内)

認定試験の受験資格

学習会を受講された方は、次年度春に開催予定の認定試験を受験出来ます。

原則として学習会は毎回の出席を条件とします。(何かしらの理由があり欠席される場合でも3回以上の出席が必要です。)

認定試験は春に行われる「筆記試験」と事前に提出頂く「自験例の記録 **3例以上**」の双方の評価をもって合否判定を致します。

合格された方は「新潟県地域糖尿病療養指導士」として5年間の認定期間が設けられます。

※更新条件等は新潟県健康づくり財団ホームページ等でご確認下さい。

(<http://www.nhf.or.jp>)

その他の受験資格者(過去の新潟県地域糖尿病療養指導士育成のための学習会を受講した方はご相談ください)

受験資格は学習会の受講条件と同じく上記①②③を満たすことが必要です

毎年の予定は最新の案内を確認してください(新潟県健康づくり財団のHPに載せます)